

1. 事業説明シート

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]	事業箇所	南アルプス市芦安芦倉～早川町奈良田	地区名	早川芦安連絡道路	事業主体	山梨県
------------	--------------------------	-------------	-------------------	------------	----------	-------------	-----

(1) 事業の概要

課題・背景

早川町奈良田地区と南アルプス市芦安地区は、現在、主要地方道南アルプス公園線と県営南アルプス林道で繋がれているが、両路線とも厳しい地形で冬の長期間の閉鎖（11月～6月）に加え土砂崩落等により度々通行止めが発生している。こうした状況の中、本路線は南アルプス地域の一年を通じた観光を可能にし、また、災害時の早川町内における孤立集落の解消や緊急物資の輸送等、生活道路としての安全安心面においてもその整備効果が期待されている。また、建設コストについては、リニア建設工事の発生土を盛土材料として有効活用することにより削減を図ることとした。

整備目標・効果

- 主要目標** 災害に強い道路の確保
- 副次目標** 市町村中心都市・大規模拠点施設へのアクセス向上
- 副次効果** 重要プロジェクトとしての位置づけ
(リニア中央新幹線の整備促進)

目標達成の方法

道路構造基準に準拠し早川町と南アルプス市を最短で結ぶ道路整備を行う。

(2) 整備内容と整備量

整備内容 道路改良 L = 4,980m W = 5.5(7.0)m

整備期間 平成26年度～平成31年度

総事業費 約8,000百万円(国費3,250百万円(6.5/10)県費1,750百万円(3.5/10)その他3,000百万円)

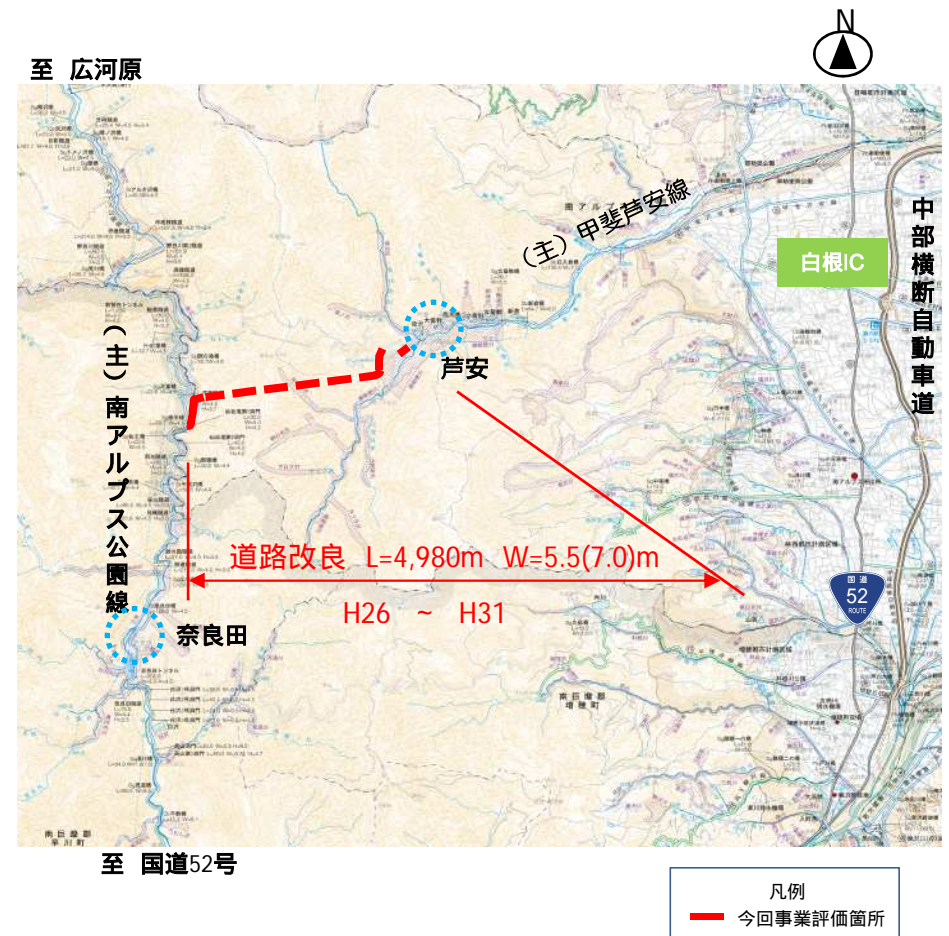
全体計画	(年度別整備内容)	(事業費)
平成26年度	測量設計、環境調査、用地買収、工用道路工事	300百万円
平成27年度	道路改良工事、橋梁工事、トンネル工事	1,500百万円
平成28年度	道路改良工事、橋梁工事、トンネル工事	2,000百万円
平成29年度	道路改良工事、橋梁工事、トンネル工事	2,000百万円
平成30年度	道路改良工事、トンネル工事	1,200百万円
平成31年度	道路改良工事	1,000百万円

既整備内容・期間・事業費
なし

(3) 中・長期計画等の位置付け

第二期チャレンジ山梨行動計画（H23～H26）

(4) 事業位置等図

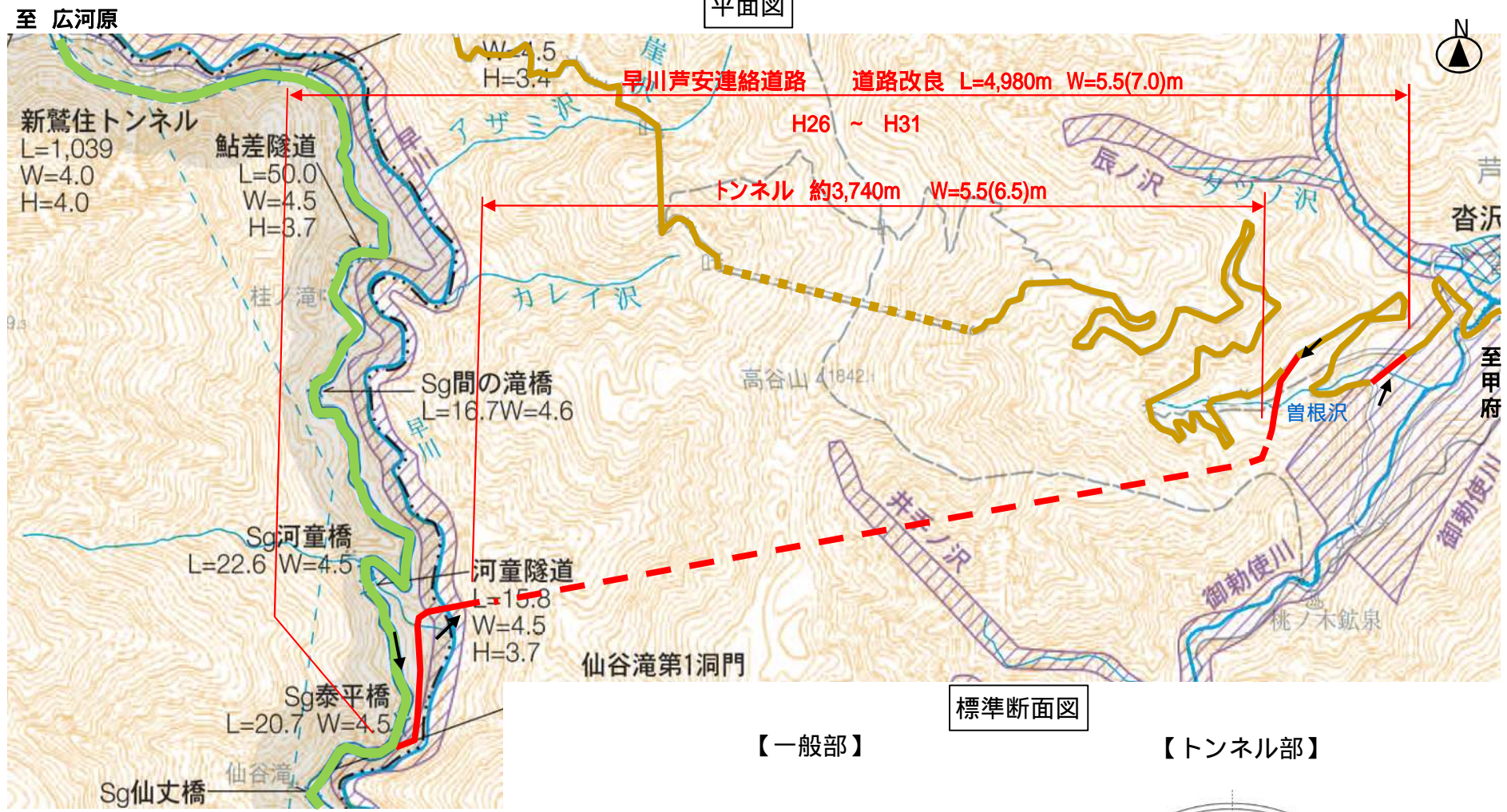


2. 評価シート

<p>(1) 公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p>	<p>(5) 整備手法の有効性 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p>
<p>(理由) 本路線は、早川町と南アルプス市を結ぶ道路であり、南アルプス地域の観光振興に寄与するとともに、災害時の孤立集落の解消や緊急物資の輸送など、生活道路としての整備効果が期待されており、社会的受益は大きく極めて公共性が高い。</p>	<p>(理由) 計画区間の大部分をトンネルによる短距離ルートでの整備とすることで地形への影響を最小限とし最も経済的な計画とした。</p>
<p>(2) 事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p>	<p>他の整備手法の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p>
<p>(理由) 本路線は、道路法第15条の規定により県で実施すべき事業である。</p>	<p>(状況) なし</p>
<p>(3) 経済効率性 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p>	<p>(6) 環境負荷への配慮 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p>
<p>(理由) ・費用(C) = 70.2億円 (内訳)改築費65.6億円 維持管理費4.6億円 ・便益(B_{o+} + B_i) = 104.8億円 (内訳) ・走行時間短縮 74.0億円 ・走行経費減少 20.5億円 ・交通事故減少 5.2億円 ・追加便益 5.1億円 ・費用便益比 ((B_{o+} + B_i)/C) = 1.5 費用便益比 (B/C) は国の採択基準 1.0 を超えている。</p>	<p>(理由) 本路線は、山梨県立南アルプス巨摩自然公園内に位置することから、設計にあたっては、大規模な自然環境の改変がないようトンネル構造形式とし、切土等を必要最低限に抑えるなど環境への負荷をできるだけ抑えると共に、本事業及びリニア建設発生土を利用する盛土については、法面を緑化するなど自然景観に調和した計画とする。 また、事業の実施に伴い環境に影響を及ぼす要因を把握するため、年間を通じた環境調査を行い設計にこれを反映させ、自然公園条例に基づく許可を得たうえで工事を実施する。</p>
<p>(4) 事業実施・規模の妥当性 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p>	<p>(7) 事業計画の熟度 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p>
<p>(理由) 早川町と南アルプス市を結ぶ県道南アルプス公園線と県営南アルプス林道は、厳しい自然環境と急峻な地形なため、冬期閉鎖に加え土砂崩落などにより度重なる通行止めが発生しており、早川地区の孤立集落の解消と安全安心な生活道路確保のためにも連絡道路の整備が必要である。</p> <p>同等施設等(計画を含む)の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 (状況) 本計画道路以外に目的を果たす施設はない。</p> <p>必要整備量の根拠 (状況) 県道南アルプス公園線と県営南アルプス林道を接続する連絡道路ルート位置は、現道の有効活用を図り、整備延長(トンネル・橋梁延長等)を最小化することにより、整備コストを極力抑制する区間L = 4,980mとした。また、リニア建設工事の発生土を盛土材料として有効利用し整備コストを削減した。幅員等は道路構造令及び山梨県道構造基準条例による。</p>	<p>(理由) 早川町と南アルプス市は、県道南アルプス公園線と県営南アルプス林道で連絡されているが、冬期の閉鎖に加え土砂崩落などにより度々通行止めが生じていることから、南アルプス周遊自動車道整備促進期成同盟会(南アルプス市、早川町、身延町、富士川町)から早期整備の要望を受けている。</p> <p>《総合評価》 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない (理由) 7項目全て妥当と評価されることから、実施が妥当と判断する。</p>

3. 添付資料シート(1)

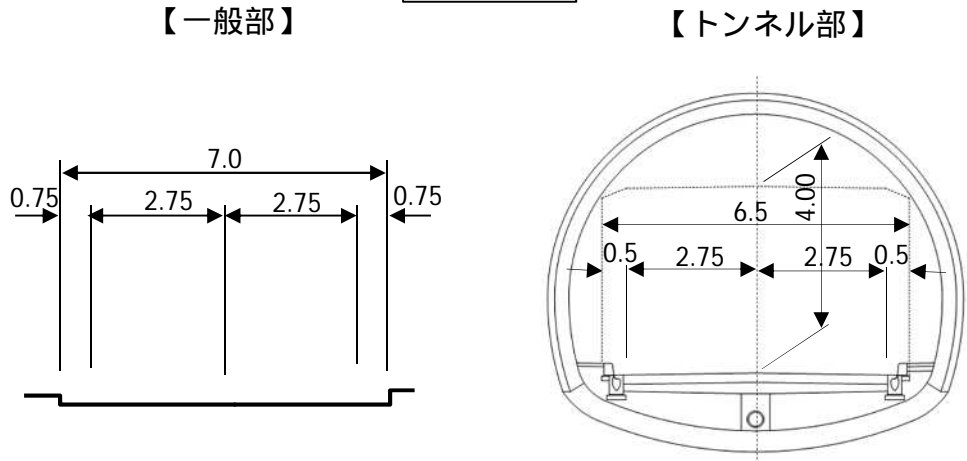
平面図



至 国道52号

- 凡例
- 計画箇所
 - (主)南アルプス公園線
 - 県営林道南アルプス線

標準断面図





早川側 県道南アルプス公園線付近



早川側 早川～トンネル坑口付近



芦安側 県営南アルプス林道付近



芦安側 曽根沢付近